

いのちの言の葉2015

富山県教育委員会平成27年度いのちの教育総合支援事業

「かがやくいのち」(道徳)

小矢部市立大谷小学校 4年
平成27年9月14日実施

【授業の概要】

- 1 あらちゃんの紹介
- 2 あらちゃんへの気持ちの変化
- 3 あらちゃんの成長と家族
- 4 あらちゃんの死と現在の自分

【いのちの先生】

松下 真由美先生

・元小学校教員、学習サポーター



<児童の感想より>②

僕は、今までの自分の生活が当たり前だと思っていました。いのちの授業を受けて、スポーツをすることや食べたり勉強したりすることが、すごくありがたいことなんだとはじめて思いました。

松下先生は、赤ちゃんがお腹にいるときに重い病気にかかって、3か月も早く、772グラムで産んでしまったこと。赤ちゃんが寝たきりになってしまうと医者に言われたこと。それでも「そんなことはない、赤ちゃんは元気な子だ。」と言った、松下先生の思いに僕は感動しました。

<児童の感想より>①

松下先生、ありがとうございます。僕は「いのちの授業」で、人生でいちばん幸せなことは、元気に生まれてきたことだと思いました。

僕は、障がい者は障がいがあるからいじめられるということはおかしいと思いました。みんな同じ人間なのに何でいじめられるのか疑問に思います。仲良く遊んであたりまえだと思います。

